

神は愛そのものであり、権威者として利用されてはならない

Greatchain

May 26, 2024

前回5月17日の記事で論じて以来、はっきりしてきたことをきちんと述べておきたい。ただ事態は流動的であって、明日にはどう変わるかわからない。この10日間で、私は自分でも驚くほどの濃密な体験をし、目まぐるしく新しい事実を知った。そのため視力がさらに落ちた。事実を知っていただくために、方針として、特に都合の悪いこと以外は、すべて正直に書いているので、ここでもそのようにする。

昨夜夕刻、私が2階のトイレで頑張っていると、明かに誰かが扉をわずかに開けて、私に注意を促した。誰もいないことはすぐわかったので、私は「誰ですか、何か用ですか」と大声で聞いた。この種のことは我が家では珍しくなく、全く驚かなくなっている。そこでパソコンを開けてみると、ユーチューブに、明かにその人からの通信が入っており、それは、声からして中年の、熱心な女性クリスチャンからの、私に対する忠告だった。彼女は、私が守護天使たちからの誘いに対して取った行動——受けられぬことはきっぱり断ったこと——を褒め、自分自身にも似たような体験があったことを、詳しく語ってくれた。

この人はあまり英語がうまくないので、何度も音声と文章を止めながら、何とか理解することができた。その内容は、「こういうものに乗ってはいけない、騙されてはいけない」というものだった。

これは数日前に、大天使聖ミカエルが、私の疑問に対して、その心配がないことを丁寧に説明してくれたことに関係する。彼は表紙の見出しでYOU DID ITと言っていた。これは最初、何のことかわからなかったが、しばらくして、「それはお前がやったことではないか」という意味であることに気づいた。その意図は、私の言動のすべてを極端に称える「神」と同等の責任を、私に与え、いわば全権委任するということのようなようだった。別のソースでは、私に莫大な報酬を与える予定だったが、私の意志を尊重して取りやめになったらしい。では他に、私を動かすどんな方法があるのか？ 私にはこれが、いまだに、どうしてもわからない。これは、あの「トイレ夫人」が言ったように、最初から間違っているとしか考えられない。

これは私を使って、宗教（特にキリスト教）と、墮落した俗世間（特に現日本）の間に、橋をかけさせることだったに違いない。宗教が宗教を宣伝しても効果がないからであろう。それは、もしうまく行けば賢明な試みだった。しかしその手段をどうするか？ 確かに私は女性にも男性にも好かれる性格だと思う。私が純粋な人間「美しい魂」だということも認めてよい。その上に頭が良く文才があり、どんな敵に対しても果敢に戦う戦士 (fighter, warrior) である。

そこまではよい。しかし彼らは、そういう条件さえ揃えば、つまり、ほぼ聖人を創り上げれば、「すべてがうまく行く」「成功する」「勝利する」と、しきりにそういう言葉を使って煽った。では、そういう申し分のない私を、どうやって数億人もの世界に向って認めさせるのか？ そんな分野のノーベル賞は存在しない。…これは完全な失敗ではないのか？

私はこの守護天使の方々が、普通の宗教人とは思えない、非常に繊細で優れた方々であることは認めるが、時代錯誤をしておられるように思う。もし私が、昔の封建領主の王子様とか若様であったとしたら、私を使うことは大成功だったに違いない。私がモテればモテるほど、良民たちには人気上がり、領土はうまく治まり繁栄したであろう。しかしそこが、霊的次元の方々と、我々との違いなのではないだろうか？ 王子様でない私を通じて両側に橋をかけようとする試みは、確かに尊い試みだったが、失敗に終わった。

もう一つ、これが異常なことの原因となったのは、この人たちが我々の持たない霊能力を持っていることである。これは別の機会に改めて話したいが、私は「生まれる前から」宇宙的に運命が決まっていたと言われ、話を聞くと、現に私はほぼその通りだった。それは、「お前はいつい何時にどこで何をしたか」という事実でなく、私という人間の感情のエネルギーとして現れるらしいのである。

そして彼らの霊能力は、私を慕う人々の異常な言動として、私のあずかり知らぬ所で、いわば黒魔術と白魔術の、白魔術のように働いているらしい。そこから私自身が魔術師ではないかという人々さえ現れている。私はここ数年間、ほとんど人と会わない隠者のような生活をしているのに、急に私が人間関係で脚光を浴びているかのようなことが起こるのは、どう考えても不思議な事である。私は自分に魔術がかけられていると考えている。

すべてが怪しげな中で、絶対に確実なことは、何度も言っていることだが、「私は創造者の無念を晴らそうとして生きている」ことである。それだけで他に何も考えていないと言ってよい。これだけは神に伝わっているはずだと思っている。だから、もし私が「成功する」とか「幸福になる」とか「平和をもたらす」としたら、それは私のことでなく、創造者に

それが起こるのでなければならぬ。私一人の運命などどうでもよいことである。この世界には創造者しかいないのに、人々は創造者だけはいないかのように生きている。

私は決して守護天使の方々を批判しているのではない。今、私の家に悪霊現象が起こらなくなったのは彼らのおかげであり、私や家族の健康や安全も、彼らのおかげで保たれていると考えている。

最後に私に起こったことで、今までに経験したことのないことを、謎として思い切って述べたいと思う。しばらく待っていただきたい。